

第3学年 英語科学習指導案

令和4年10月6日(木)

第5校時 13時50分～14時40分

3年2組(少人数Aクラス) 16名

指導者 中村舞

1. 単元名 後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わる「マスコットキャラクター」を提案しよう！

(NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 Lesson4 The World's Manga and Anime)

2. 単元について

○教材について

本単元では、日本で作られた漫画やアニメの文化に、日本人だけでなく世界中の多くの人が親しみを感じていることや、多くの人に愛されるために文化の違いを超えて調整が行われていることについて学ぶことができる。単元の最後には、後輩たちに本校の魅力を伝える「マスコットキャラクター」を考えその紹介文を書く活動を予定しているため、どのようなものが人々から親しまれ愛されるかということを考えるきっかけになる。

文法事項としては、関係代名詞の主格の用法を学習する。前単元で学習した後置修飾と同様に、関係代名詞を使用することで、書き手の伝えたい内容をより正確に、具体的に記述できるようになり、自己表現の幅を広げることができる言語材料であるといえる。本単元を通して、自分の考えや気持ちを整理し、筋道を立てて書く力を身に付けさせたい。

○生徒について

生徒がこれまでに学習してきた英作文のテーマは、自分の経験や興味のあることなど、自分自身に関する題材が多く、他人に自分の考えたアイデアを認めてもらえるように英語で提案する経験は少ない。そこで、生徒が相手の理解や納得を得られるように自分のアイデアを伝えるために、自分の考えを根拠づけたり、理由を補足したりする方法を学ぶことが必要である。

ある程度まとまりのある内容を書く活動は継続して行ってきたため、書くことに抵抗を感じない生徒が多い。昨年度のIBAテストのWritingでは英検3級合格レベルを達成した生徒が73%いた。しかし、学習の難易度が上がるにつれて、生徒の表現力には差が開いてきている。また、モデル文を参考に、与えられた言語材料を使って型に当てはめて表現することはできるが、自ら必要な言語材料を取捨選択し、表現することは全体的に苦手としている。そこで、本単元で学習する関係代名詞(主格)以外の既習表現も、自己表現につながるよう繰り返し復習を行っていく必要がある。

○指導について

指導にあたって、上に述べた生徒の課題に対応するため、以下の3点をポイントに挙げる。

- ① 「誰に」「何のために」「何をやる」のかを意識させ表現させる。あえて教師からモデル文を示したり、使用する言語材料を指定したりしない。どのような構成でどのような表現を使うことが適切かを考えさせる機会とする。しかし、書くことに苦手意識を持つ生徒にはハードルの高い課題だと言える。そこで生徒同士の学びを充実させ、モデルとなる生徒の文章を提示しその生徒の工夫を気づかせる機会を設けたい。
- ② 読み手の理解や納得を得る書き方ができるよう、自分の考えの根拠や理由を意識させ記述できるようにさせる。具体的には、理由をたずねる発問を行ったり、メモ書きの際に自分の考えと理由・根拠を分けて書かせたりする。また、筋道を立てて書くために、必要に応じて文と文のつながりを示す語も指導していく。
- ③ 単元を通し、ある程度まとまりのある内容を表現する活動を繰り返し設定する。その中で使用された表現については、全体で確認し今後の自己表現につなげさせる。単元のゴールで使用できそうな表現については、帯活動の中でも繰り返し練習させる。また、毎時間の振り返りの中で、今後使用していきたい表現をメモさせる。そうすることで、自ら必要な言語材料を取捨選択できるようにしたい。

3. 単元の目標

自分が考える学校のマスコットキャラクターについて、学校の魅力や良さを話し合い、その良さを生かしデザインしたキャラクターの紹介文をつくる活動を通して、事実や自分の考え、気持ちを整理してまとまりのある内容を書くことができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

書くこと	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができるようにする。
------	---

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<p>〈知識〉 関係代名詞（主格）の特徴やきまりを理解している。</p> <p>〈技能〉 自分の考えるマスコットキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し関係代名詞（主格）などを用いて書く技能を身につけている。</p>	<p>後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるオリジナルキャラクターを提案するために、自分の考えたキャラクターの特徴等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</p>	<p>後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるオリジナルキャラクターを提案するために、自分の考えたキャラクターの特徴等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

6. 指導と評価の計画（11時間扱い）

時間	学習活動	知	思	態	評価規準【評価方法】
1・2	①単元のゴールを確認し、自己目標を設定する。 ②キャラクター・人物あてクイズを通して、関係代名詞（主格）の意味や用法を知る。	○			関係代名詞（主格）の特徴やきまりについて理解している。【記述分析】【行動観察】
3	教科書の文をリテリングする活動を通して、関係代名詞（主格）の意味や用法を知る。	○			関係代名詞（主格）の意味や用法を理解している。【行動観察】
4	「キャプテン翼」についての対話文の内容理解を通して、関係代名詞（主格）の使い方を確認する。	○			関係代名詞（主格）の使い方を理解している。【記述分析】【行動観察】
5	クラスメイトに向けて、自分の好きなキャラクターについて書く。	◎			<p>〈知識〉 ・関係代名詞（主格）の特徴やきまりを理解している。【記述分析】</p> <p>〈技能〉 ・自分の好きなキャラクターについて、関係代名詞（主格）などを用いて書く技能を身につけている。【記述分析】</p>
6・7	①Read を読み、日本の漫画やアニメが海外で出版・放映されるときに変更され		○		・日本の漫画やアニメの記事を読み、その概要を捉え、ALT に日本の漫画やア

	<p>る点の例とその理由について表に整理し記事の概要を捉える。</p> <p>②記事の内容をもとに ALT に日本の漫画やアニメが愛される理由を書いて紹介する。</p>				<p>ニメが愛される理由を書いている。</p> <p>【記述分析】</p>
8・9	<p>佐伯南中学校の魅力について、自分の意見を考え、交流する。</p> <p>話した内容を踏まえて、オリジナルキャラクターを考え、その紹介文を書く。</p>		○		<p>・佐伯南中学校の良さについて、理由とともにペアで伝え合っている。【行動観察】</p> <p>・オリジナルキャラクターの紹介文を書いている【記述分析】</p>
10 (本時)	<p>紹介文を書く上で使えるような表現を復習したり、互いの紹介文を聞き合い、内容を整理したりし、紹介文を推敲する。</p>		◎ ◎		<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>・《後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるオリジナルキャラクターを提案するために、自分の考えたキャラクターの特徴等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を》書いている。【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>・《同上》書こうとしている。【記述分析】</p> <p>【行動観察】</p>
11	<p>①後輩が読むオリジナルキャラクターの紹介文を完成させる。</p> <p>②自己目標の達成状況を振り返る。</p>		◎ ◎ ◎		<p>〈知識〉</p> <p>関係代名詞（主格）の特徴やきまりを理解している。【記述分析】</p> <p>〈技能〉</p> <p>自分の考えるマスコットキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し関係代名詞（主格）などを用いて書く技能を身につけている。【記述分析】</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるオリジナルキャラクターを提案するために、自分の考えたキャラクターの特徴等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を》書いている。【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》書こうとしている。【記述分析】</p> <p>【行動観察】</p>
後日	ペーパーテスト	◎	◎	◎	

7. 本時案

(1) 題目 マスコットキャラクターの提案

(2) 本時のねらい

自分が考える学校のマスコットキャラクターについて、見えそうな表現を復習したり、互いの紹介文を聞き合い、内容を整理したりする活動を通して、事実や自分の考え、気持ちを整理してまとまりのある内容を書くことができるようにする。

(3) 展開

時	学習活動	指導上の留意点	備考（評価）	
5	1.Warm up	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで簡単なやりとりをさせる。 ・メモをもとにペアで互いに 30 秒スピーチを行わせる 		
5	2.Review	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールを確認する ・前時の振り返り（ロイロノート）を見させ、キャラクターの紹介文をより良いものにするにはどうすればよいか確認させる。 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Today's Goal：後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるより良い紹介文にしよう！ </div>				
3 7 (10)	3.Activity (1)表現の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にロイロノートで提出された「どう書けばよいか困っていること」を解決するために、表現の方法を考えさせ、繰り返し発話させたり例文を確認したりして指導する。 		
(5)	(2)Rewriting①	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)で確認した表現をもとに、紹介文の加筆・修正を行わせる。 		
(15)	(3)発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで(2)で書き直した紹介文を読んで発表させる。その後、ペアでそのキャラクターについてやりとりさせる。 ・聞き手に紹介文の「良かったところ」や「自分も使いたい表現」をメモさせる。 ・全体にモデルとなる生徒の紹介文を提示し、読んで発表させる。 ・どんなところが良いのか全体で交流し、以下の点を中心に指導する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの特徴とその根拠（学校の魅力等）が関連して説明されているか。 ・読み手を意識した内容・構成になっているか。 </div> 	〈思考・判断・表現〉 《後輩たちに佐伯南中学校の魅力が伝わるオリジナルキャラクターを提案するために、自分の考えたキャラクターの特徴等について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を》書いている。 【ロイロノート】	
(7)	(4)Rewriting②	<ul style="list-style-type: none"> ・(3)を受けて、再度紹介文の加筆・修正を行わせる。 ・ロイロノートに提出させ、より良い文章になった何人かに紹介文を発表させる。 		
3	4. Reflection	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに授業の以下の点について振り返りをさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介文の完成度はどのくらいか。前時よりも良い紹介文になったか。（その理由も書かせる） ・次回紹介文を完成させるときに意識したいこと、またはまだ悩んでいること。 </div> 		〈態度〉 《同上》書こうとしている。 【振り返り（ロイロノート）】